



編集 SEF事務局
 連絡先 03-3726-3411
 URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば 「平成23年(大正100年)の新年に」

理事長 村瀬禎男

明けましておめでとうございます。皆様には良いお正月を清々しく迎えられたことと存じます。

今年は平成23年(2011年)ですが昭和86年、大正100年に当たります。ちなみに明治100年は昭和42年(1967年)のことでした。中村草田男が「降る雪や明治は遠くなりけり」と詠んだのは昭和6年(1931年)頃のことですから大正20年頃に当たり、これからすると今や大正はおろか昭和も遠くなってしまったのかも知れません。平成元年早生まれの若者達が今年3月には大学を卒業します。

第2次世界大戦の際に出征した方々の大半は大正生まれで、戦争の苦難をまともに受けた世代でした。そして昭和の初めの頃に生まれた人々も戦争を体験してきました。これらの世代の人々は敗戦を体験し、この内の多くが平和に対する欲求が強い一方、国家を大切に、国益を考えることを忘れません。

戦争体験のない政治家たちには是非、このような意識を共有して頂き日本の国益を損なわず、今年こそは将来を展望できる曙光の見える年となってくれることを願っています。

12月度理事会より(第94回12月22日)

1. '11年度(第10期)事業計画策定手順/審議・決定	4. 会員退会の件/報告
2. 住重インテック(株)・青森県大仙美郷「し尿処理施設機能検査」請負業務事前計画/審議・承認	5. テクノジャパン(株)の商品説明会/実施報告
3. 11月度収支報告/月次報告書記載事項の絞り込み検討	6. 各事業部成行/報告
	7. その他

事業報告 「22年度コミ研 合宿と第4次テーマ」

担当役員 小泉理事

1月16~18日の2泊3日で、第8回の合宿研修を実施しました。会場は蓼科ビレッジ別荘地内にある、某社の保養所を借用しました。当保養所を拝借するのは4回目ですが、保養所のイメージとはほど遠い贅沢な設備と、林の中の静かな環境に恵まれております。管理人等もおらず我々だけの貸切ですが、食事は自炊ですので、山に入る前に、茅野のスーパーで買い出しをするのが恒例です。我がグループには名料理人がおりますので、5回の食事には大いに舌鼓を打ちましたが、初日の野外バーベキューは、蓼科合宿の欠かせぬ行事として定着しています。

さて今回の「研修」の最大目的は、コミ研第3次研究テーマ『世界同時不況の先にあるわが国』を完結させることでしたが、熱心な討議を経て、無事、2本の論文を仕上げる事が出来ました。論題は、「心の輸出・観光立国」と「世界同時不況を乗り越えて」であり、何れの論旨も、世界同時不況により露呈された日本の課題を克服し、日本を再生させる手立てを提言しております。ほぼ2年間にわたる研究の成果として、近い内にSEFホームページにてご紹介いたします予定ですが、会員の皆様よりのご意見・ご批評等を戴きたいと考えております。

尚、合宿の終わりに、第4次テーマとして『日本の農業のあり方』(仮題)を取り上げることに決定致しました。農業問題は最近のTPP加入論議により、俄かにクローズアップされておりますが、わが研究会では、折に触れて議論されてきた課題です。政官民の関心の高まりの中、我々独自の論旨を見出せるだろうか?如何なる切り口で進めるべきか?等々、未だ暗中模索の段階ですが、遣り甲斐のあるテーマと感じながら、各々が宿題に取り組み中です。

本年の集合活動は、1月31日開催予定の第62回定例研究会・新年会がスタートとなります。

SEFサロン 次回(第62回)ご案内

日時: 2011年1月26日(水) 18時	場所: 青学会館内、レストラン・フィリア
講師: 安東 達氏 (元黄桜酒造 東京支店長)	演題: 「お酒談義」(予定)

12月度会員動向

正会員退会 片貝裕一さん(業務支援)	12月末現在の会員数	正会員 35名	準会員 40名
準会員退会 塩谷俊樹さん(教育研修)		賛助会員 3社	